

# Jtca

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

# Frontier

日本マニュアルコンテスト2017結果報告



第12号  
2018年





一般財団法人  
テクニカルコミュニケーター協会

# Frontier

第12号 2018年

## CONTENTS

日本マニュアルコンテスト2017結果報告	P.02
結果分析 各部門のまとめ	P.05
本年度のマニュアルコンテスト概要	P.07
審査結果	P.12
入賞マニュアル解説	P.14
最終審査委員コメント	P.30
マニュアル オブ ザ イヤー 2017 受賞会社訪問	P.34

# 日本マニュアルコンテスト2017結果報告

2017年10月4日、TC協会ホームページにて、日本マニュアルコンテスト2017の結果が発表されました。今号の特集では、本年度のコンテストの概要をまとめ、コンテストの経過を振り返るとともに、入賞した作品に対する二次審査委員の解説と最終審査委員からのコメント、マニュアル オブ ザ イヤーを受賞された皆様からのコメントを紹介いたします。

## ■ はじめに

日本マニュアルコンテストは、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会が主催し、マニュアルコンテスト憲章にもとづき、以下の目的で開催されます。

- (1) マニュアルの品質向上を目的として、コンテストを継続・維持することでマニュアル評価方法の改善と普及を図る。
- (2) マニュアル評価ガイドラインを作成し、時代の変化に合わせて改定するためにマニュアルコンテストから得られる情報を活用する。
- (3) 制作者およびユーザーが、共にその審査結果に納得できる信頼性の高いマニュアルコンテストを目指す。
- (4) 優秀なマニュアル制作の功労者を表彰する。

毎年、結果報告書を発行し、日ごろマニュアル制作に携わっている方々がこの報告書から何かを感じ取り、今後のマニュアル品質や制作技術の向上に役立てていただけるよう取り組んでいます。

なお、本年度の応募作品の中から優れた作品を紹介するサンプル集をTC協会ホームページで公開しています。こちらにもぜひアクセスしてください。

[https://www.jtca.org/tc\\_award/index.html](https://www.jtca.org/tc_award/index.html)

## ■ 日本マニュアルコンテスト2017によせて

テクニカルコミュニケーター協会会長  
綿井 雅康

本年のマニュアルコンテストも、応募いただいた企業の方々、ならびに運営と審査に携わった皆様のご理解とご協力のお陰で、本当に充実した成果をあげることができました。受賞なさった皆様には改めてお祝いを申し上げます。

本コンテストに応募すること、応募作品を審査すること、さらには受賞作品を選定すること、最終コンテストに参加すること、こうした一連の活動のすべてが、使用説明に関する知識と技術の向上に寄与すると考えます。関係する皆さまが、互いに競い合いつつも、互いに高め合っていく貴重な活動だと感じています。

本年度も京都会場で、MOY候補作品のプレゼンテーションが行われました。各社の方々から、開発過程や課題改善の「リアルな」取り組みを披露していただきました。参加された皆様にとって、本当に有意義な機会だったのではないのでしょうか。マニュアルが進化し、その品質が向上していくとともに、本コンテストも進化していく必要があると思います。

マニュアル品質の向上にむけた取り組みを充実させていくために、本コンテストが一つの機会や契機になればと存じます。今後とも皆様のご理解とご協力を是非ともお願い申し上げます。

## ■日本マニュアルコンテスト2017を振り返って

実行委員長 遠藤 幸夫

日本マニュアルコンテストでは、2014年～2017年にかけて、以下の改善/変更を実施しました。

### <2014年>

- ・「産業機器部門分科会」を発足したこと。
- ・評価基準を、IEC82079-1 を軸にした新しいものに変更したこと。
- ・一次審査委員につき、原則として実行委員が兼任する形式に変更したこと。

### <2015年>

- ・紙マニュアル部門につき、応募者からの印刷冊子の提供部数を「1部のみで可」としたこと。
- ・電子マニュアルにつき、2つの部門に分かれていたのを「電子マニュアル部門」として1つに統合したこと。
- ・審査委員の講習会を前年の8h→10h に増強したこと。

### <2016年>

- ・部門を媒体別ではなく、「総合」「一般」「業務」「産業」の4部門としたこと。
- ・評価表において、要件項目6点（識別情報、意図した使用目的、対象読者、発行年月、製品の運転のための情報、問い合わせ先）を重要項目と位置づけ、IEC82079-1 への対応に関する評価をより具体化したこと。
- ・TCシンポジウム(東京)の受賞マニュアル展示会場において、実行委員によるツアー説明会を実施したこと。

### <2017年>

- ・部門分類の上位カテゴリーを対象読者（一般、業務、産業）とし、下位カテゴリーをメディアの種類の数に応じた分類（個別=単一メディア、総合=複数メディア）にしたこと。（ただし、産業部門は下位の

分類はせず従来どおり）

これら大小の改善を経た2017年のマニュアルコンテストですが、概ね下記の流れで運営されました。

- ・2017/1～4月：実行委員(=審査委員) に対する講習会
  - 第1回：マニュアルとは何か
  - 第2回：IEC82079-1を中心とした国際規格
  - 第3回：評価表の見かた、使いかた
  - 第4回：実践形式で評価と解説
  - 第5回：評価レビューの書き方
- ・2017/5月：一次審査
- ・2017/6月：二次審査（受賞候補の選定）
- ・2017/7月：最終審査（受賞作品の確定、MOY候補作品の選定）
- ・2017/8月：TCシンポジウム東京にて表彰式、MOY候補作品の発表、展示会場におけるツアー説明会
- ・2017/10月：TCシンポジウム京都にてMOY選定および表彰式
- ・2017/11月：総括

本年の活動成果として、プロセスの観点では「展示会ツアー」の準備方法が確立できたことがあげられます。昨年から始めた「展示会ツアー」ですが、今年は、審査コメント、展示パネルコメント、ツアー説明の3者を連携させることで、受賞理由や評価ポイントが確実に伝わるようになっただけでなく、応募者へのフィードバックが具体的かつ有益なものに精度アップしていくと期待できます。

審査結果の観点では、IEC82079-1 を評価の軸にしたことによる効果があげられます。特に「意図する使用目的」、「対象読者」、「識別」といった基本項目の実践は、高評価につながる第一歩になっています。これらは対象製品や説明書自身の「自己紹介」のような

もので、読み手のメンタルモデル形成を助ける上で重要です。わかりやすいマニュアル作りの初歩的な事項として、自社マニュアルは実践できているか、是非チェックすることをお勧めします。

一方、課題としては、シンポジウム展示会場の準備負担が増えてきたことがあります。電子マニュアルや総合部門への応募が増えてきたのですから、PCやスマートデバイス、製品本体の展示も当然増えます。応募会社の皆様には、これら器材の提供についても想定しておいてくださいますよう、何卒よろしくお願いします。

最後に、私がマニュアルコンテスト実行委員長はおろか実行委員としてもまだ3年めだったので、ほとんどの作業が2名の副実行委員長はじめ、皆様の多大なご協力の上で進められてきました。誌上を借りて厚く御礼の意を表明したいと思います。ありがとうございました。

# 結果分析

## 各部門のまとめ

シンポジウム展示パネルから転載。

### ● 総合部門

今年から応募部門の区分が変わり、総合部門は一般総合部門と業務総合部門の2部門に分かれた。一般総合部門は7点の応募があり盛況であった。一方、業務総合部門には1点しか応募がなく非常に残念である。しかし両部門合わせて8点の応募は昨年の3倍であり、応募は増加傾向にあると思いたい。

一般総合部門はすぐれた作品の応募があり、1点が部門最優秀賞に選ばれた。その他に、部門優良賞が1点、実行委員特別賞が1点選ばれた。しかし、電子と紙の役割分担が明確でないため、双方の内容に重複が多いなど、今後の努力が必要な作品もいくつか見られた。そのような作品は、何を実現するために複数のメディアを採用したのかをじっくり考えなおして改善することをお願いしたい。業務総合部門においては、今回応募された作品は受賞とはならなかったが、優れたところも見られたので、今回の指摘点を改善して再度チャレンジしてほしい。

来年度は業務総合部門の応募がさらに増えることを期待したい。

### ● 一般個別部門

一般ユーザー向けに書かれた紙マニュアル、電子マニュアルが対象である。応募件数としては、紙マニュアルが20点（うち5点が受賞）、電子マニュアルが3点（うち2点が受賞）だった。紙マニュアルについては、受賞作5点のうち2点が優秀賞だったので受賞作のレベルは高かったといえよう。一方の電子マニュアルは、昨年の受賞なしから今年は2点の

受賞が出たので嬉しい。これらの中で印象的だったのが、紙マニュアルの「IH クッキングヒーター取扱説明書」、電子マニュアル（実際には動画）の「アイスコーヒーマシン取扱説明書」である。IHについては、横書きと縦書きが混在するイレギュラーな紙面作りでも、レイアウトや文字サイズを工夫すれば十分読みやすさを実現できることを示している。

一方のアイスコーヒーマシンでは、IEC82079-1を意識して制作すれば、単なるPR動画ではなく、有用な「マニュアル」として通用することを教えてくれた、といえる。

### ● 業務個別部門

主にビジネス、オフィスで使う製品や施工業者向けのマニュアルが対象である。ここでは、製品の使用方法を説明したものと同様に、設置・施工作业の手順を説明したものが存在感を示している。

今年は、数百ページにおよぶ施工手順の冊子や、特定の作業を抜粋したシートマニュアルまで、さまざまな形態の10点（紙マニュアル7点、電子マニュアル3点）の応募作品より、設置・施工を主体とした内容の紙マニュアル2点を優良賞に選出した。受賞作は、いずれも製品本体のマイナーチェンジ、すなわち改良に合せ、マニュアルを実直に改良していることが伺えるものであった。業務用の製品は、マイナーチェンジを繰り返しつつ、長期に渡り市場に供給される傾向にある。ここで、マニュアル制作者が、仕様変更の情報を反映するだけでなく、わかりやすくする工夫やミス

を生じさせない工夫を続けていることは心強い。  
なお、惜しくも受賞に至らなかったが、今年の応募作品には、新しい技術を活用した製品や、非常にピンポイントで業種・作業を絞り込んだ専用マニュアルとでもいうべき切り口のものがあった。

今後、このような新しい製品や、新たな切り口のマニュアルから受賞作が生まれることに期待している。

## ● 産業部門

産業ユーザー向けの“製品またはサービス”のマニュアルが対象である。一般ユーザー向けとは異なり、製品やサービスを使うためには訓練や資格が必要とされる。応募のマニュアルは近年では最もレベルの高い出来栄であった。審査の結果、優秀賞、優良賞と2件の奨励賞を選出した。

優秀賞の選出理由として、設置工事を行う説明書であり安全上のご注意や具体的な工事説明において明確な説明で「安全・安心」に配慮した内容であった。

ただし、産業機器部門は全般的に、警告表示の記載が不十分で安全・安心の視点で配慮不足の傾向にある。

リスクの最小限化という視点で、リスクアセスメントを行い、許容可能な残留リスクを安全に関する情報として使用者に明確に伝えなければならない。加えて、合理的に予見可能な誤使用や製品の使用に起因するリスクも考慮することも必要である。

優秀賞、優良賞の評価されたポイントを水平展開すると共に、警告表示の改善を行うことで、産業機器部門として全体のレベルアップに期待したい。

# 本年度のマニュアルコンテスト概要

## 応募状況

### ■ 応募点数（総数52点）

一般 個別部門	23点	業務 総合部門	1点
一般 総合部門	7点	産業部門	11点
業務 個別部門	10点		

### ■ 応募会社（五十音順）

株式会社アイプラネット	三菱電機照明株式会社
アイホン株式会社	ヤマハ株式会社
アズビル株式会社	ヤマハ発動機株式会社
アンリツ株式会社	リコークリエイティブサービス株式会社
オリンパス株式会社	
菊水電子工業株式会社	
キヤノン株式会社	
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	
株式会社JVCケンウッド	
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	
ソニーマーケティング株式会社	
ダイキン福祉サービス株式会社	
東芝メディカルシステムズ株式会社	
ネスレ日本株式会社	
パナソニック株式会社	
パナソニック エコソリューションズクリエイティブ株式会社	
PFUテクニカルコミュニケーションズ株式会社	
日置電機株式会社	
富士ソフト株式会社	
株式会社堀場製作所	
株式会社マキタ	
マツダエース株式会社	
三菱電機株式会社	

## 一次審査

### ■ 審査基準

使用説明の国際規格 IEC 82079-1:2012 に対応した評価基準で審査を行いました。一般的なチェックリストは使用せず、マニュアルコンテスト委員会が独自に作成した評価表と呼ばれるシートを使用して採点しています。応募分野により、またマニュアルの性質により、チェックリストでは当てはまる項目と当てはまらない項目の違いが顕著になる場合があります。このような場合、チェックリストを使うと評価結果にばらつきが出て、公正な評価が難しくなる恐れがあるため、より柔軟性のある評価表を使用しています。

### ■ 審査方法

審査委員はマニュアルコンテスト委員とマニュアルコンテスト実行委員に加えて、過去に審査委員であったが今年は実行委員にならなかった人の中で審査を希望された有志の方々です。一冊のマニュアルにつき3人の審査委員が審査しました。ただし一般および業務の総合部門は、コンテスト委員と実行委員選抜によって構成されたグループですべての応募マニュアルを審査しました。なお一部のマニュアルについては出張審査を行いました。

### ■ 講習会

新規にマニュアルコンテスト実行委員になった人には評価基準と評価表の使いかたを学ぶために10時間の講習を受けていただきました。

講師：マニュアルコンテスト委員

清水 義孝

徳田 直樹

根本 隆志

## 二次審査

### ■ 審査方法

審査委員を部門ごとのグループに分け、一次審査結果に基づき相対評価を行い、その妥当性を検討した後、審査委員全員で最終的な妥当性を検討しました。

#### ● マニュアルコンテスト委員 (五十音順)

<委員長>

徳田 直樹 株式会社パセイジ

<委員>

小野 友嗣 リコーククリエイティブサービス  
株式会社

嶋田 正裕 NPO法人STC東京

清水 義孝 株式会社クレストック

瀬戸 大地 株式会社クレストック

根本 隆志 キヤノン株式会社

千葉 理恵 株式会社JVCケンウッド・  
公共産業システム

都築 行博 岡村印刷工業株式会社

長谷部 雄一 ソニーマーケティング株式会社

廣瀬 敏之 株式会社ガスター

松井 清人 キヤノン株式会社

保田 智暁 株式会社日立ハイテク

マニファクチャ&サービス

四下 朋子 キヤノン株式会社

#### ● 日本マニュアルコンテスト2017 実行委員 (五十音順)

<実行委員長>

遠藤 幸夫 ヤマハ株式会社

<実行副委員長>

工藤 亜望 TOTO株式会社

白木 亮 マツダエース株式会社

<実行委員>

上田 彰 YKK AP 株式会社

久我 俊治 リコーククリエイティブサービス  
株式会社

熊澤 宏 株式会社シイエム・シイ

佐藤 富美子 YAMAGATA INTECH株式会社

鈴木 裕一郎 株式会社日立テクニカル  
コミュニケーションズ

田崎 里枝 PFUテクニカルコミュニケーションズ  
株式会社

#### ● 日本マニュアルコンテスト2017 産業機器部門分科会 (五十音順)

<主査>

寺田 安夫 パナソニック株式会社

<実行委員>

梯 珠美 エスペック株式会社

桐山 智左子 アズビル株式会社

久保 達昭 株式会社ハル

小林 智 株式会社テック

コミュニケーションズ

瀬戸 由美 株式会社日立製作所

林 みのり 株式会社堀場製作所

福田 健治 螢印刷株式会社

横山 友信 株式会社ダイテック

# 最終審査

## ■ 審査方法

二次審査を経て各部門の上位マニュアルを、有識者によって審査しました。

## ● 最終審査委員 (五十音順)

安藤 昌也	千葉工業大学	先進工学部知能メディア工学科	教授
市川 美知	産業能率大学	情報マネジメント学部	兼任講師
大村 宏之	一般社団法人	日本食品機械工業会 事業部	部長
宗林 さおり	独立行政法人	国民生活センター	理事
徳田 直樹	一般財団法人	テクニカルコミュニケーター協会	副評議員長
長田 敏		製品安全コンサルタント	
山根 香織	主婦連合会	参与	
綿井 雅康	一般財団法人	テクニカルコミュニケーター協会	会長
	十文字学園女子大学	人間生活学部 人間発達心理学科	教授・副学長

# 表彰式

表彰式はTCシンポジウム東京開催および京都開催の会場で実施しました。

東京会場では、受賞作品の関係者30名が出席し、奨励賞、部門賞、特別賞の表彰状と盾が会長および実行委員長から授与されました。会長からはマニュアル オブ ザ イヤーにノミネートされた5作品が発表され、会場から大きな拍手が送られました。また、表彰式終了後に開放された壇上は、受賞作品の関係者による記念写真の撮影で大いに賑わいました。

京都会場では、マニュアル オブ ザ イヤーにノミネートされた5作品（4社）のプレゼンテーションが行われました。1作品10分という限られた時間のプレゼンテーションの中では、各社とも作品のコンセプトや取り組みなどを情熱的に語られており、白熱したものになりました。プレゼンテーションの終了後、別室での最終審査委員の討議によりマニュアル オブ ザ イヤーが決定されました。マニュアル オブ ザ イヤーの発表を待つ間、関係者は緊張した表情でしたが、発表後の会場は大いに盛り上がり、受賞作のみならずノミネート作品の関係者にも惜しみのない拍手が送られました。

## ● 式次第

### ■ 東京開催

1. テクニカルコミュニケーター協会 綿井会長 挨拶
2. 千葉工業大学 先進工学部 知能メディア工学科 教授 安藤昌也様 挨拶
3. マニュアルコンテスト実行委員会 遠藤実行委員長による経過報告
4. 受賞作品表彰（賞状、盾の授与）
5. マニュアル オブ ザ イヤー ノミネート作の発表

### ■ 京都開催

#### ● 第一部（ノミネート作品のプレゼンテーション）

1. PlayStationVR クイックスタートガイド／装着ガイド／取扱説明書（株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント）
2. ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i(アイ) 取扱説明書（ネスレ日本株式会社）

3. IH クッキングヒーター 取扱説明書（パナソニック株式会社）
4. エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）工事説明書（パナソニック株式会社）
5. MAZDA CX-5 電子取扱説明書（マツダエース株式会社）

#### ● 第二部（マニュアル オブ ザ イヤー発表、表彰式）

1. テクニカルコミュニケーター協会 綿井会長 挨拶
2. マニュアルコンテスト実行委員会 遠藤実行委員長からの発表
3. マニュアル オブ ザ イヤー選考経過説明および表彰（賞状、トロフィーの授与）
4. マニュアル オブ ザ イヤー受賞企業挨拶
5. 最終審査委員 テクニカルコミュニケーター協会 綿井会長 講評



マニュアル オブ ザ イヤー授与風景



マニュアル オブ ザ イヤー受賞者挨拶

# 審査結果

## 入賞マニュアル一覧

賞名称		マニュアル名称	応募会社	解説
マニュアル オブ ザ イヤー		エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）工事説明書	パナソニック株式会社	14
部門 最優秀賞	一般 総合部門	PlayStationVR クイックスタートガイド／ 装着ガイド／取扱説明書	株式会社ソニー・ インタラクティブ エンタテインメント	16
部門 優秀賞	一般 個別部門	IC レコーダー ICD-UX560F/565F 取扱説明書	ソニーマーケティング 株式会社	17
		IH クッキングヒーター 取扱説明書	パナソニック株式会社	18
		MAZDA CX-5 電子取扱説明書	マツダエース株式会社	19
	産業部門	エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）工事説明書	パナソニック株式会社	14
部門優良賞	一般 個別部門	ネスカフェ ゴールドブレンド アイスコーヒーサーバー 取扱説明書	ネスレ日本株式会社	20
		洗面化粧台 ウツクシーズ 取扱説明書（総 合編）	パナソニック エコソリューションズ クリエイツ株式会社	20
		ネットワーク CD レシーバー CRX-N470 取扱説明書	ヤマハ株式会社	21
		軽量型電動車いす JW アクティブ PLUS+ 車いす用電動ユニット JWX-1PLUS+ 取扱説明書	ヤマハ発動機株式会社	21
	一般 総合部門	ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i (アイ) 取扱説明書	ネスレ日本株式会社	22
	業務 個別部門	施工説明書 アラウーノ専用手洗い （キャビネットタイプ）	パナソニック エコソリューションズ クリエイツ株式会社	22
		パワーアンプリファイアー MA2030a PA2030a 取扱説明書	ヤマハ株式会社	23
	産業部門	複合形カルシウムイオン選択性電極 取扱説明書	株式会社 堀場製作所	23

賞名称	マニュアル名称	応募会社	解説
最終審査委員特別賞 (スマホでホッとするで賞)	ネスカフェ ゴールドブレンドバリスタ i(アイ)取扱説明書	ネスレ日本株式会社	24
企画賞	PlayStationVR クイックスタートガイド/ 装着ガイド/取扱説明書	株式会社ソニー・ インタラクティブ エンタテインメント	25
	IH クッキングヒーター 取扱説明書	パナソニック株式会社	26
安全賞	蛋白質分析装置 Rapiim Eye 10 取扱説明書	東芝メディカル システムズ株式会社	27
実行委員特別賞	パナソニックドラム式電気洗濯乾燥機 取扱説明書	パナソニック株式会社	28
奨励賞	電子負荷装置 PLZ-5W シリーズ ユーザーズ マニュアル	菊水電子工業株式会社	28
	蛋白質分析装置 Rapiim Eye 10 取扱説明書	東芝メディカル システムズ株式会社	29

## 応募数および受賞数

### 日本マニュアルコンテスト 2017 応募数および受賞数

部門	応募数	受賞数					
		優秀賞	優良賞	企画賞	特別賞	安全賞	奨励賞
一般 個別部門	23	3	4	1	0	0	0
一般 総合部門	7	1	1	1	2	0	0
業務 個別部門	10	0	2	0	0	0	0
業務 総合部門	1	0	0	0	0	0	0
産業部門	11	1	1	0	0	1	2
合計	52	5	8	2	2	1	2

# 入賞マニュアル解説

## マニュアル オブ ザ イヤー

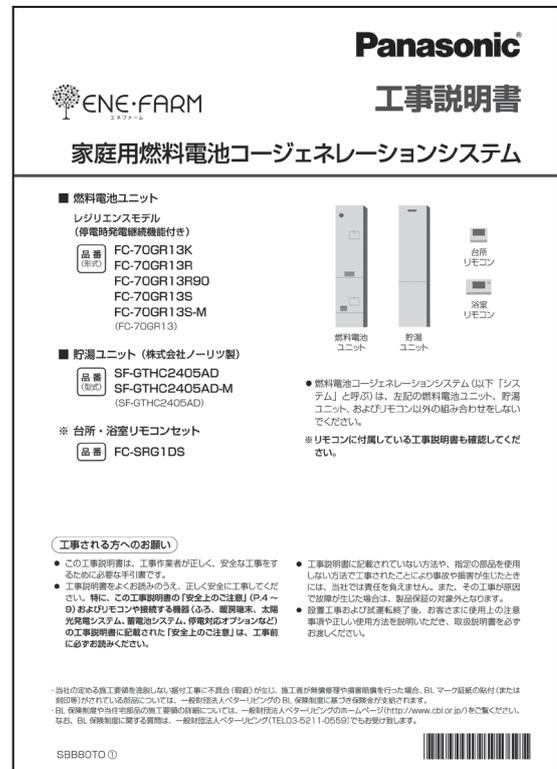
## 産業部門優秀賞

エネファーム

(家庭用燃料電池コージェネレーションシステム)

工事説明書

パナソニック株式会社



### ● 最終審査委員のコメント

本受賞作は、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (商品名: エネファーム) の設置・施工に携わる専門業者向けのマニュアルである。家庭への給電と給湯を提供する製品システムであり、いくつもの専門的な施工担当者が連携協力して設置・施工するために用いられる工事説明書である。

コンテスト応募にあたり、従来の業者向け工事説明書のスタイルから、一般ユーザー向けの取扱説明書を意識したスタイルへと、大幅な改訂改善を試みている。具体的には、工程全体を俯瞰できる図解説明を加えたこと、施工手順の説明に3Dイラストを適切に用いて見やすさわかりやすさを改善したこと、レイアウトやデザインの工夫により検索性の向上させた

こと、安全への配慮に関する情報の提示方法を工夫したことである。

個々の工夫や改善は、今日のTC技術から見れば、決して斬新とはいいきれない。

けれども、改訂改善の根底には、安全かつ確実に施工設置されることは、本製品システムを利用する人の安全の確保につながる、という強い意識が感じられる。

さらに、工事説明書の改善・進化は「高生産性社会」の実現に貢献するものと考えられる。

こうした点が高く評価され、また、本マニュアルの更なる進化への期待も込めて、マニュアル オブ ザ イヤーとして選考された。

## ● 二次審査委員のコメント

---

家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの設置工事を行う説明書として、作業について平易な文章で詳細に説明されている。文章では説明し難いところをイラストや表を使って、正確に情報を伝えるコミュニケーション技術が高い。特に機器を接続する場合など、必ず手順ごとに詳細なイラストを使い説明しているので理解しやすい。

情報の検索性の点では、大きな章見出しや工事名称、ツメ見出しなどで工夫がみられ、工事名称に従って内容を実施する場合は作業者に親切で

分かりやすい。

現状の改善点として、全体的な工事の流れや関連性を俯瞰できるような仕組みが欲しい。たとえば章以下の階層で、項番を設けると、そのページの位置が把握でき、目次や索引の検索能力性が向上する。また、各工事には、必ず残留リスクがあるので、作業に対する注意喚起を促す警告文があれば、より安全・安心な作業が期待できる。

## ● 受賞者の声：パナソニック株式会社

---

この度は栄誉あるマニュアル オブ ザ イヤーを受賞できて、大変うれしく思うと同時に、さらに責任の重さを感じています。

ご指導・ご協力いただいた関係各社・関係各位には、深く感謝いたします。

受賞したエネファーム工事説明書は、「工事作業者に、安全に正しく工事をしてもらうことによって、ご使用いただくお客様の安全・安心にもつながる」という強い意識をもって制作しました。

そのために、一般ユーザー向けの取扱説明書を意識したスタイルにして、わかりやすさや検索性などを大幅に改善しました。具体的には、工事の流れが俯瞰できるようにしたり、3Dイラストを多用したり、「安全上のご注意」部分で、やるべき

ことを明確にすると同時に、読みやすくするなどの改善を行いました。

今回の評価コメントでもいただきました通り、今日のテクニカルコミュニケーション技術から見れば、決して斬新とは言い切れないものであり、さらなる改善や進化が必要と考えますが、制作方針として考えていた「工事説明書でも、お客様視点で制作する」というポイントで評価いただけたことをうれしく感じています。

今後も「お客様視点での制作」を忘れることなく、安心・安全な商品をお客様にお届けするメーカーとしての責務を果たしながら、工事説明書の改善や進化を通じて、「高生産性社会」の実現に貢献していきたいと思っております。

## 部門最優秀賞

### 一般 総合部門

#### PlayStationVR クイックスタートガイド／装着ガイド／取扱説明書

#### 株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント

既にプレイステーション (PS) のユーザーで追加でVRを入手した方を想定したマニュアルである。白色の箱を開くと最初に目に飛び込んでくるのがPSを象徴する青色が表紙のクイックスタートガイドであり、ここからユーザーを製品世界に引き込む工夫をしている。クイックスタートガイドは1本のケーブル接続を見開き2ページでまとめており机や床の上に開いて置いて参照しながら接続などの作業ができる。数多くあるケーブルに目立つ番号タグが付けられているのでマニュアルの説明と確実に照合できる。その先はヘッドセットを装着してから参照できる装着ガイドに導かれて目的のVR体験に到達する。箱の開梱から機器の接続を経てVRの体験まで一貫した流れの中でステップごとに工夫が凝らされており総合的に見て秀逸なマニュアルになっている。



## 部門優秀賞

### 一般 個別部門

#### ICレコーダー ICD-UX560F/565F 取扱説明書

#### ソニーマーケティング株式会社

持ち運び容易なサイズに、情報がすっきりとまとめられている点が評価されたマニュアルである。説明やレイアウトを統一し、余白や行間を確保した上で、コンパクトにまとめている。見出し、「使うボタン」の説明、操作手順の流れが統一されており、わかりやすい。

見出しとツメの色使いも効果的である。帯の色が濃淡で使い分けられており、大見出しのページが見つけやすい。ツメにも同様の濃淡が施されており、帯の色と連動させることで、これも探しやすいにつながっている。

パラパラとめくりやすい素材である点もよい。製品と一緒に持ち運び、知りたいときにさっと開いて読める冊子になっている。

ただし、「使用上のご注意」や「警告」、「注意」がマニュアルの冒頭ではなく、巻末の「その他」に記載されている点には課題が感じられる。安全に正しく使用するための情報提供の位置付けが明確ではないように感じられるため、構成見直しなどの改善の余地はある。

SONY

#### ICレコーダー 取扱説明書



インターネット上でヘルプガイド(Web取扱説明書)を閲覧できます(パソコン・スマートフォン用)。ICレコーダーの詳しい使いかたや困ったときの対処方法を説明しています。  
<http://rd1.sony.net/help/icd/u56/ja/>



ICD-UX560F / ICD-UX565F

## IHクッキングヒーター 取扱説明書

### パナソニック株式会社

本マニュアルの一目でわかる特徴は、通常の「表紙」の反対側が「困ったとき」の表紙であること。ここから、自然にページをめくり読み進めることができるのは、縦書きの日本語ならではの。さらに、製品を取り扱う上で注意すべきキーワードは、縦書きかつ大きなフォントで示すことで、横書きの本文と明確に対比させている。一般消費者が日常的に使用する製品のマニュアルは、読んでもらうために目を引く工夫も求められるが、本マニュアルのデザインはその一つの良策と言える。これらの施策は、今回、審査委員間のデザイン嗜好の違いによって大きく評価が分かれた。しかし、本マニュアル全体が、①原則見開きで説明が完結し、各文章は一文一意で簡潔である、②紙面に十分な余白があり、圧迫感が払拭されている、など基本品質が高い上での工夫であることを評価し、「優秀賞」に選出した。紙マニュアルの構成や表現には、工夫の余地がまだまだある、と感じさせる実例である。

**Panasonic**  
**取扱説明書**  
IHクッキングヒーター (家庭用)  
＜赤外線式換気運動対応＞

<b>W7タイプ</b> ダブル(左右IH)オールメタル対応 品番 KZ-W773K KZ-W773S KZ-W763S KZ-PW773S KZ-PW763S 鉄・ステンレスの鍋に対応 すべての種類の金属鍋に対応*	<b>W5タイプ</b> シングル(右IH)オールメタル対応 品番 KZ-W573S KZ-W563S KZ-PW573S KZ-PW563S 鉄・ステンレスの鍋に対応 すべての種類の金属鍋に対応*
<b>W3タイプ</b> 鉄・ステンレス対応 品番 KZ-W373S KZ-W363S 鉄・ステンレスの鍋に対応	<b>W1タイプ</b> 2口IH+ラジエントヒーター 品番 KZ-W173S KZ-W163S 鉄・ステンレスの鍋に対応 IHで使えない鍋にも対応 ※鍋底の形状や大きさによって使えないものがあります。(区分け方P.11)



**保証書・設置説明書別添付**  
このたびは、IHクッキングヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
■ご使用前に「安全上の注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。  
■保証書は「お買い上げ日・お買い求め先」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。  
■電気工事店または施工主より設置説明書を受け取り、設置完了後の確認項目をご確認ください。

パナソニックの会員サイト  
[CLUB Panasonic]で  
「ご使用者登録」をお願い  
します。(P.44ご参照)

## MAZDA CX-5 電子取扱説明書

### マツダエース株式会社

「電子版でしかできないこと」を徹底的に研究している。ユーザーの購入検討中／納車前／納車直後といった時間を、「楽しい」時間にしてしまうという、従来のマニュアルの役割を超えた利用のされ方が非常に魅力的である。また、ビジュアル検索、スイッチ別、表示灯別、など、さまざまな切り口での検索機能を充実させることで、まさに「電子版でしかできないこと」が実現されている。

その一方で、「さくいん」の「ケ」の「警告表示・警告灯」や、「ヒ」の「表示・表示灯」の項目数が非常に多いところや、ページの最上部が表示されているから、一瞬間をおいて、そのページの該当の項目位置までスクロールする動きなどユーザーにとって操作性の低下を招くおそれがある。このような点を改善することで、さらにユーザビリティの向上が期待できる。使い方を説明する、という従来のマニュアルの機能を高度に備えつつ、マニュアルがユーザーの「所有感」「使用感」に深く寄与しているマニュアルである。



## 部門優良賞

### 一般 個別部門

#### ネスカフェ ゴールドブレンドアイスコーヒーサーバー 取扱説明書

##### ネスレ日本株式会社

アイスコーヒーサーバーの基本操作をすべて動画で説明した挑戦的な作品である。必要な使用情報は、紙の取扱説明書で網羅したうえで、その補助として本作品は制作されている。

実写映像とアニメーション効果を組み合わせた説明は明快で、細かい操作も具体的にイメージできる。説明の速度はやや速めでテンポが良い。1分を超える動画だが、飽きずに視聴することができる。アニメーション効果やBGMなどの演出も洗練され

ていて、製品の世界観をよく表現できている。画面右側で説明の流れを示したり、動画の残り時間を表すバーを独自に用意していたり、情報を探しやすい工夫もなされている。動画の冒頭で、取扱説明書を読むように促している点も評価された。

動画を置いているサイトの構造やタイトル、情報量など改善の余地はあるものの、動画の完成度とその試みが評価された。

#### 洗面化粧台 ウツクシーズ 取扱説明書（総合編）

##### パナソニック エコソリューションズ クリエイツ株式会社

適切なイラスト使用と十分なホワイトスペースの確保により、読みやすいマニュアルである。各ページの説明が見開きで完結しており、見出しが大きく分かりやすいため、ぱらぱらとめくって探すことができる一方、特定条件で情報を探したい場合の「シーン別」「部位別」といった検索ができるようにも構成され、どちらも明瞭にかかっている。また、p.20-27で、お手入れのタイミング（「日常」「週に一度」など）を見出しに入れている点や適切な場所にQRコードを掲載して、すぐに動画を参照可能と

している点など、よく工夫されている。

ただ、注目をさせるための縦書きタイトルは良いのだが、タイトル横のリード文の配置に戸惑いを感じた点、分冊タイトルの「総合編」の意味合いが不明瞭で本書の位置づけが曖昧に感じた点が少し残念である。それと、使用環境が水場であるため、通常の紙媒体は現場で参照するのに適していない。耐水素材の選択や別の形での情報提供も検討すると、さらに使いやすいマニュアルになるのではないかと。

## ネットワークCDレシーバー CRX-N470 取扱説明書

### ヤマハ株式会社

各ページの記載を左コラム：操作手順、中央：イラスト、右コラム：補足説明 (Note) という共通レイアウトにすることで、読みやすくまとめ、横開き型のレイアウトの利点を十分に発揮している。イラストはシンプルだが、周りに薄アミを引いた効果もありコントラストが効いていて引き出し線の視認性もよい。また、見出しフォントの種類や大小関係が分かりやすいフォントサイズにも工夫があり、総じて読みやすい。

「本機でできること」の俯瞰図ではできることがわかりやすくまとまっている。また、「故障かな？」はカテゴリごとにトラブルがまとめられ、目的の項目を探しやすい。

ネットワーク接続が必要な機能に対して、タイトルに専用アイコンを付加する工夫がされているが、アイコンの意図は初出箇所 (目次ページ) で説明がほしい。また巻末に「安全上のご注意」があるが、リスクの大小によっては操作手順内に必要な警

## 軽量型電動車いす JWアクティブPLUS+

### 車いす用電動ユニット JWX-1 PLUS+ 取扱説明書

#### ヤマハ発動機株式会社

初めて車いすを使う方や介護する方にわかりやすい表現が心がけられている。特に「はじめてお使いいただく方へ」はイラストで直感的に内容を想起でき、見開きも有効に活用されている。安全に関する情報は冒頭と本文で繰り返し記載されていて確実に伝わる。どのような危険があるかもイメージしやすい。2冊とも余白を生かしたゆとりのあるレイアウトで、読むことのストレスが少ない。

ただし、実機イラストが細かすぎて注目部位がわかりにくい、どのような作業かを推測しづらいも

のがあるなど、個々の操作説明には改善の余地がある。2冊のコンセプト分けやデザイン上の統一感もやや弱い。

なお、表紙やイラストによって全体に明るい、楽しい印象に仕上がっていることを評価したい。製品の特性上、必ずしも望んで使用する方ばかりではないかもしれず、そうした状況で手に取るものと考え、ユーザーの不安をやわらげるために大事な心づかいであると思われる。

## 一般 総合部門

---

### ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i (アイ) 取扱説明書

#### ネスレ日本株式会社

紙マニュアル、Web、スマホアプリヘルプの3点による総合部門への応募作品である。中でも紙マニュアルの安全上のご注意とWebの動画の完成度が評価され受賞に至った。

安全上のご注意は、製品の目的、使用者が明記され、IEC82079-1の観点からも手堅く模範的な仕上がりにある。動画はナレーションの声は明瞭、リズムカルで聞き取りやすく、黒っぽい部材も明るく表現され、実物を見るより識別しやすい。手順のエフェクトも流れを単調にさせず、再生時間の長さを

補う効果を出している。最初に機器の仕組みにもとづく原因を説明している点も、学習効果を高める良い工夫である。

要望として、紙マニュアルは複数ページにまたがる情報のつながりをわかりやすくして欲しい。色使いも光沢紙を使うのであれば抑え気味にしても良いだろう。総画面では、Webやアプリでサポート情報を参照するための説明が紙マニュアルになく、サポートの全体像をつかめない。この改善が優先課題である。

## 業務 個別部門

---

### 施工説明書 アラウーノ専用手洗い (キャビネットタイプ)

#### パナソニック エコソリューションズ クリエイト株式会社

説明書の構成的には「施工チャート」(P7)を中心に詳細施工手順が展開されていて、全体が把握しやすい。また、右ページ上に施工の進捗を表すフローチャートがあり、施工作业がどこまで進んでいるか確認できる。個々の施工方法も、ホワイトスペースが十分あり見やすい。施工部分のイラストは、太線やアミで強調してありわかりやすい。また、手順本文を読まなくてもイラスト中の丸付き数字と要約方法で、作業内容が理解でき、施工ができそうに思われる。

さらに、目立つ裏表紙に「施工完了チェックリスト」があり、しかも表紙に「お客様にお渡しください」と記載するのは、安心感を与える。

P8～30まで20ページ以上施工手順が続いているが、右ページ上の施工の進捗を示すフローチャートでは、1つのブロックになっている。現在行っている施工が10ある施工手順の中での進捗を示すように改善すれば、進捗状況がよりわかりやすくなる。

## パワーアンプリファイアー MA2030a PA2030a 取扱説明書

### ヤマハ株式会社

A2サイズ両面のシートという限られたスペースに必要最小限の情報だけを効率よく配置されたマニュアルである。

特に「セットアップ」でStep、Optionと分けし、イラストと手順番号で全体を俯瞰させることで探しやすさの工夫がされている。また、表面と裏面で目的に合わせた情報が整理されているため、必要な情報を探しまわる必要がない。

使い勝手としては、A2サイズの紙面は大きいと感じるが、折りや情報のブロックを意識してレイア

ウトしているため折りたたんで必要な箇所のみを見られるよう工夫することで使い勝手を良くしている。

ただし、情報の精査など限られた紙面で工夫されているが、簡潔にまとめられているがために詳細な方法を知りたい場合のフォローが不足していると感じた。たとえばWEBにはQ&A一覧があり、マニュアルに記載されていない項目もあると思われる。積極的にWEBへの誘導を入れて情報の充実を図ると、さらに良くなるのではないかと期待する。

## 産業部門

### 複合形カルシウムイオン選択性電極 取扱説明書

#### 株式会社堀場製作所

ユーザーが測定業務の初心者であっても、測定結果に自信が持てるようになるために、何を伝えたらよいか？を検討した経緯がうかがえる。「見て欲しい」「読んで欲しい」という意図がよく伝わる好印象な取扱説明書である。

余裕のあるレイアウト、親しみやすいイラスト、短文化されたテキストにより、「見やすく」、「読みやすい」取扱説明を実現している。

参考資料で検査原理を説明し、初心者にも理解

できるように丁寧に説明されている。これが、ユーザーの製品特性の理解につながり、測定技術に自信を持たせる手助けとなっている。完成した取扱説明書は、モノクロ印刷であるが、印刷データをカラーで作成しているため、残念ながら網かけされた部分などの視認性が落ちている。

今後も、ユーザー視点に立ち、より良い取扱説明書に改善されていくことを期待する。

# 最終審査委員特別賞(スマホで“ホッ”とするで賞)

ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i (アイ)

取扱説明書

ネスレ日本株式会社



一般ユーザーにとって取扱説明書は、普段はしまっておき、困った時に探し出すものだと言える。探し出してきて、解決策が載っているページを探し、文章と図を見ながら自力で解決していく。しかし、困った時ほど素早く解決策を見つけたいはずだし、できることなら自分で読んで理解するのではなく、解決する手順を教えてもらいたい。きっとこれは、ユーザーの本音ではないかと思う。

今回、審査委員特別賞として選出したのは、ネスレ日本株式会社のコーヒー抽出機「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタi」の取扱説明書である。商品は紙のマニュアルとともに、スマートフォン専用アプリの一機能として提供された「ヘルプ&サポート」も対象である。「ヘルプ&サポート」には、紙のマニュアルの電子版の他に、「トラブルシューティング」として、よくあるトラブルの解決策を全てYoutubeに公開された動画として提供している。いずれの動画も、実機を操作する映像にナレーションがありトラブルシューティングをわかりやすくガイドしてくれる。

最終審査会では、スマートフォン専用アプリの動画のマニュアルの他に、このアプリのコミュニティ

サービスにも話が及んだ。コミュニティに友達や家族を登録しておく、同じ機器を持っている友達や家族がコーヒーを入れたタイミングや感情がわかるというサービスである。離れて住む家族が、コーヒーで“ホッ”と一息する様子が、手元でわかるというものだ。

コミュニティサービスは本マニュアルコンテンツの審査の対象ではないが、コーヒーを飲む時にはいつも使う機能のある専用アプリに、マニュアルがいつでも使えるように提供されているということは、ユーザーにとって安心につながるはずである。また、それが動画で提供されている点も、ユーザーの利用状況を良く理解した提供形態であると評価できる。

「故障かなと思ったけど、紙のマニュアルを探さなくてもいつも使っているアプリにあって、しかも動画が解決策を教えてくれて解決できた。これがあれば“ホッ”と一安心」そんなユーザーの声が聞こえてきそうである。

マニュアルの今後のあり方を考える上でも、大いに参考となる作品であり、審査委員特別賞を贈ることとした。

## 企画賞

PlayStationVR クイックスタートガイド／  
装着ガイド／取扱説明書  
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント



製品とユーザーの行動から課題を明らかにし、その取り組みに特化した使用説明を成し得ている。

ケーブルには接続説明のために番号タグ付きを標準とし、クイックスタートガイドは1本のケーブル接続を見開きの2ページで表現している。ユーザーは、ガイドを床やテーブルなどに開いて置き、必要な1本を見つけ接続する。これにより複雑なケーブル接続と手順を間違えずに電源を入れるところまで完了できる。ヘッドセットは装着しながらスコープで見える装着ガイドに導かれな

がら調整を終えることができる。ガイドは、一見すると贅沢過ぎて余白が無駄に多い紙面に思えるかもしれないが、実際に作業してみると、早く製品を使いたいユーザーの心理と行動に対して適当な表現だとわかる。

VR体験をする製品の、初めて箱を開けるところからセットアップまでを、確実に繋がる体験としてデザインされている。

これらは多くの部門と目標を共有し課題達成に取り組んだ結果であろうと想像できる。

# IHクッキングヒーター 取扱説明書

## パナソニック株式会社



### 取扱説明書

IHクッキングヒーター(家庭用)  
<赤外線式炭気連動対応>

<p><b>W7タイプ</b> ダブル(左右H)オールメタル対応</p> <p>品番 KZ-W773K          KZ-W773S 鉄・ステンレスの順に対応          KZ-W763S 鉄・ステンレスの順に対応          KZ-PW773S 鉄・ステンレスの順に対応          KZ-PW763S 鉄・ステンレスの順に対応</p>	<p><b>W5タイプ</b> シングル(右H)オールメタル対応</p> <p>品番 KZ-W573S          KZ-W563S 鉄・ステンレスの順に対応          KZ-PW573S 鉄・ステンレスの順に対応          KZ-PW563S 鉄・ステンレスの順に対応</p>
<p><b>W3タイプ</b> 鉄・ステンレス対応</p> <p>品番 KZ-W373S          KZ-W363S 鉄・ステンレスの順に対応</p>	<p><b>W1タイプ</b> 2口H+ラジエントヒーター</p> <p>品番 KZ-W173S          KZ-W163S 鉄・ステンレスの順に対応</p> <p><small>※調理の形状や大きさによって使えないものがあります。(見分け方P.11)</small></p>



**保証書・設置説明書別添付**

このたびは、IHクッキングヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・お買い求め先」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 電気工事店または施工主より設置説明書を受け取り、設置完了後の確認項目をご確認ください。

パナソニックの会員サイト  
**【CLUB Panasonic】**  
 で「**ご使用者登録**」をお読み  
 します。(P.44ご参照)

メニューを配置した目次ページでは、IHでできることを印象づけ、「焼く」のなかでのバリエーションや、ヒーターとグリルの違いなどをわかりやすく説明している。「購入したらすぐ、見て作りたくなる取説」である。

冊子全体では、目を引く見出しをたて(安全「油と水にご注意」)、本文(「煮る」「炒める」など)、調理イメージ写真を大きく配置して目立たせ、見開きレイアウトの中で、操作と詳細説明のメリハリをつけながら説明してある。ぱらぱらとめくったときにも探

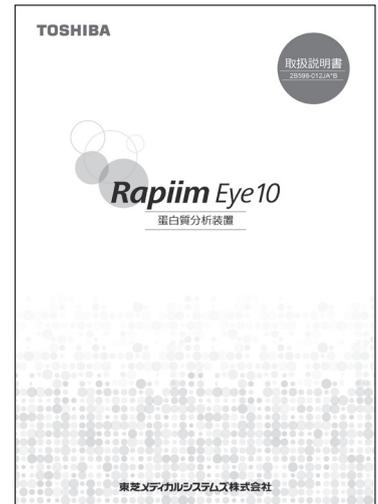
しやすい冊子となっている。

また、「困ったときは」を裏表紙から開始して本文との差異を出し、利用者に対して「困ったらこちらから」の印象付けがうまくできている。

IHが初めてでも、買い替えの人でも、基本操作をしっかりと説明しながら、かつ、知りたいときにすぐに活用できる「利用者が使いたい取説」「利用者に寄り沿う取説」としての企画意図が達成されている。常にキッチンに置いておきたい取説である。

# 安全賞

## 蛋白質分析装置Rapiim Eye 10取扱説明書 東芝メディカルシステムズ株式会社



蛋白質分析装置は、一般消費者が使用する製品ではなく、医師または看護師、臨床検査技師、薬剤師等の医療従事者などの専門家が使用する製品である。

蛋白質分析装置のマニュアルを開くと、次のことが書かれている。

### 第1章 意図する用途

#### 1.1 意図した医学的用途

この装置は、専用の検査カートリッジ内での免疫反応によって生成した特異的蛋白質量や、免疫反応に寄与した抗原量や成分量の推定を行い、判定値または検査値を診療のために提供します。

#### 1.2 意図した患者情報

年齢、健康状態 : 不特定

#### 1.3 想定している操作者

病院や診療所の医師または看護師、臨床検査技師、薬剤師等の医療従事者が操作します。

.....(省略)

### 第2章 安全に関する全般的な情報

.....(省略)

#### 2.1 シグナルワードの定義

.....(省略)

#### 2.2 安全シンボルの説明

.....(省略)

#### 2.3 操作者の安全確保

.....(省略)

#### 2.4 感電・火災・停電防止

.....(省略)

#### 2.5 感染防止

マニュアルは、誰でも理解しやすい、わかりやすい言葉で書けばよいと思われがちだが、大変厳格な理解しにくい言葉が使われている。しかし、文字の大きさも適切であり、わかりやすい図面が組み込まれており、長時間読んでも飽きさせないように工夫されている。

本製品を操作する者が専門家であるがゆえに、マニュアルの厳格な言葉を理解しようと努力し、かつ、安全上の警告は、絶対守らなければならないと思うことだろう。蛋白質分析装置のマニュアル記載方法は、一般消費者が使用する製品（電化製品、日用品など）のマニュアルには使えないが、高い能力をもった専門家やマニアによる使用が想定される機器などでも活用できるだろう。じっくり考えて読ませ、安全上の警告を正しく理解させて守らせるアイデアであると感じる。

## 実行委員特別賞

パナソニックドラム式電気洗濯乾燥機 取扱説明書

パナソニック株式会社

取扱説明書、簡単ガイド（二つ折りシート）、製品組み込み「便利メニュー」の3点で総合部門へ応募された。この中で、「便利メニュー」が特に優れていると評価された。

電子化された洗濯機は多機能で細かな設定が可能となっている。その説明をタッチパネルの限られたスペースの中で上手く表現している。情報の絞り方と整理が良いのだ。UIとの親和性が高く、説明を読んでそのまま機能が使えるのは、ユーザーの負担

を軽減している。多機能化する電化製品に組み込まれる使用説明のコンテンツとして好例ではないだろうか。

取扱説明書の方は情報を網羅することを目的にしたためか、総覧的な表現でまとめ切れておらず、使い方の主旋律を見失ってしまう表現になっていた。簡単ガイドは記載内容の絞り込み、デザインの処理が評価に及ばなかった。

## 奨励賞

### 電子負荷装置 PLZ-5Wシリーズ ユーザーズマニュアル 菊水電子工業株式会社

構成やレイアウトの配置、画面の操作説明に一貫性があり、わかりやすいマニュアルに仕上がっている。特に、15～16ページの「後面負荷入力端子に接続する」は、同じ線を使わずに、実際に作業に必要な部分が目立つようにイラストを工夫している。圧着端子の向きについても圧着端子の種類別に説明があり、わかりやすい。49ページの「測定値記録の流れ」は、フロー図があり、全体を把握した後、個々の設定の説明に進む構成になっており、理

解度向上の手助けになっている。PDFとしてもリンクが適切に設定されているので、紙としてもデータとしても取り扱いしやすいマニュアルになっている。

ただし、安全上のご注意（警告表示）は、警告図記号や色の使い方などを改善する余地があり、「安全・安心」な視点で、配慮不足である。産業機器は、特に、「安全・安心」は重要なファクターであるので、今後の改善に期待する。

### 蛋白質分析装置Rapiim Eye 10取扱説明書 東芝メディカルシステムズ株式会社

最近の産業部門のマニュアルは、レイアウトデザインがデザイナーの感性だけで作られて、情報を正しく伝えるという基本的な目的が忘れられているものが多い。このマニュアルは一見地味な印象だが、テキストとイラストの配置が一定であり、読み進める時に不自然な視点の移動を要求されることが少なく、ストレスを感じさせない。消費製品のマニュアルは、対象読者の範囲が広く、読者の読む気を起こさせるために目を引くデザインが使われる

ことが多い。一方、産業分野のマニュアルは、対象読者が明確であり、マニュアルを読みたがらないというケースを考慮する必要はないので、このように基本的に忠実な読みやすいレイアウトデザインを採用することが望ましい。ただし、ボールドを多用しているために強調すべき箇所が目立たなくなっていること、日本語の表現にわかりにくい箇所があること、他の説明を参照させる箇所に参照ページがない場合があることなどが残念である。

# 最終審査委員コメント

安藤 昌也 千葉工業大学 先進工学部知能メディア工学科 教授

今年度も最終審査に携わることができ、大変光栄に思っております。やはり、最終審査にノミネートされるマニュアルは、読み手の設定やデザインの狙いがはっきりしており、非常にクオリティが高いものばかりだと実感いたしました。さらに今年度は、基本から一歩踏み込んだ、提案的なアイデアの作品が複数あったのが印象的でした。

一般総合部門最優秀賞の(株)ソニー・インタラクティブエンタテインメント「PlayStationVR クイックスタートガイド」等の一連のマニュアルは、ゲームという商品性やブランドイメージまでを考慮して計画された作品でした。A4横開きのフルカラーで、見開き左ページは説明文(と言ってもごく簡単に)、見開き右ページは接続図という、マニュアルではかつてない大胆な体裁は、最新技術を使ったゲームならではの演出効果であるとも感じました。もちろん、複雑な接続コードの対応付けを、番号シールと接続図の表現がずれないように工夫

するなど、小さな工夫が随所に見られ、ユーザー体験の一部としてマニュアルが計画されたことを十分理解させるものでした。

また、同部門優良賞で審査委員特別賞のネスレ日本(株)「ネスカフェゴールドブレンドバリスタ」のスマートフォンを用いたマニュアルでは、SNSなどのアプリの機能の一部として動画マニュアルを掲載したものでした。一般にマニュアルは、製品を使い始めたら、ユーザーの意識からは遠くにあるもの、雑な表現をすれば“どこにいったか探すもの”と言ってもいいかもしれません。しかし、スマートフォンのサービスの中にいつもあるマニュアル、あるいはスマートフォンの利用スタイルにあった動画という提供方法は、今後のマニュアルのあり方を考えるヒントがあると感じました。

マニュアルの提供方法や情報提示の工夫によって、“顧客接点としてのマニュアル”の役割の重要性を、さらに高められる可能性があると感じました。

市川 美知 産業能率大学 情報マネジメント学部 兼任講師

一般総合部門のPlayStationVRは新しい製品を買ったユーザーのワクワク感を最小限の努力で実現できるように導く工夫が素晴らしいと思いました。マニュアル担当者のみならず、カートン、ソフトウェア、部品のデザイナーなど関係者全員が知恵を絞った結果であり、まさに「総合」に相応しい情報デザインができたと言えます。

ワクワク感という無形の価値をユーザーに持ち続けてもらうためには、使用中、知りたいことにいち早くリーチできる検索性は紙、電子ともに信頼性に関わる大事な要素です。PlayStationVRと共に私が注目したのは複合型カルシウムイオン選択性電極

(堀場製作所)のマニュアルです。作業スペースを考慮した版型や紙質、文章表現、作業の確認を容易にするイラストの大きさ、QRコード(サイズが大きすぎるが)による情報誘導など、現場使用に即したマニュアルになっています。

紙マニュアル全般に言えることですが、統一性を持ったグリッド使用によるフォーマットデザインに今一度真剣に取り組んでほしいものです。レイアウト如何で読みやすさ、わかりやすさが大きく左右されます。

最後に、軽量型電動車いすのマニュアルが部門優良賞になったことは安全情報等見直すべき点が多々あるにしてもチャレンジablで拍手を送ります。

最終審査に残る取扱説明書（以下、取説）は、いずれも事前審査による厳しいチェックをくぐり抜けた高いレベルの製品ばかりです。これら取説から、制作に携われた方々のご苦労、独自性、そして自信を強く感じました。

これら優れた取説はいずれも基本的な規格要求を満たし、用語や表現にも気を配っておられます。そのため小職の場合、どうしても細かい事項、及び感覚的な印象に基づく評価となってしまいます。この観点から誠に僭越ながら小職が今回特に気になった『“見た目のデザイン性（個性）”と“わかりやすさ”のバランス』について、二つ述べさせていただきます。

一つは見た目のデザイン性を優先することで、本来明確であるべきイラストの意図を損なっていないか、ということです。イラストの目的は「伝える情報

を補足する」と、IEC82079-1（以下、規格）の6.3は記します。“一目で意図がすぐわかる”“説明文と略図は互いの近くに配置する”など、イラストは製品を初めて見るユーザの理解を十分支援するデザインとレイアウトが求められます。

二つ目は、見た目のデザイン性を重視するあまり、読みやすさを犠牲にしていないか、という点です。読みやすさについても規格の6.2.4は“様々な要素を区別する”“本文の固まりは適切な割合とする”“空白を利用する”等と定めています。文字情報の読みやすさは、見た目のデザインと両立、又は“読みやすさ”の方が優先すると個人的には考えます。

「個性とわかりやすさのトレードオフ」、小職も深く考えさせられた最終審査でした。

今年度はマニュアルの審査対象を一般消費者、業務用等に分類して審査を実施したが、其々の分類によって重要となる点が異なることが浮き彫りとなった。また、対象となる商品も構造が複雑なのか比較的シンプルなのか、日常的に使用の機会が多いものと使用頻度が低いものともマニュアルで記載されるポイントが異なってくる。

これらの要素をよく頭において、折り畳まれていても広げると1枚になるような工夫や、図を駆使して

複雑なものを少しでもわかりやすくする等検討を重ねることが大切だと思われる。また、複雑なものは使用する際にだけ必要な別冊を作ることも一法ではないだろうか。

また、今年度は電子マニュアルについて期待されたが思いのほか厳しいコメントが続いた。今後、より工夫を重ねて印象的なものが登場することを期待したい。

マニュアル オブ ザ イヤーにノミネートされる作品は年々向上してきており、今年も優れた作品が5作品ノミネートされた。

今年従来のように昼休みの時間帯にノミネート各社のプレゼンテーションと受賞作の発表・表彰を行うのではなく、TCシンポジウム京都開催プログラムの2.5時間枠ひとこまを使う協会発表イベントとして、初日午後「マニュアル オブ ザ イヤー 2017発表・表彰」という名称で行われた。プレゼンテーションは各社とも非常に上手で、プレゼンテーションを視聴するためだけに来場する価値があると思わせるものばかりであった。

MOY選考審議においては、各作品それぞれに異なる良さを持っているため、一つの作品に絞るのに時

間がかかってしまった。結果として、複数の読者層（異なる工事をする施工業者）を対象にしているにもかかわらず、それぞれの読者層向けの内容を適切にグルーピングし、分かりやすいイラストと文章で説明することにより、工事全体がスムーズに進むように構成されているという理由と、それにより最終的にはエンドユーザーの安全を守ることを実現しているという理由で、パナソニック株式会社の「エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）工事説明書」がマニュアル オブ ザ イヤーに選ばれた。

対象読者を明確にして説明を書くことは重要なのでこの作品が選ばれたことは非常に喜ばしい。来年度も優れた作品が応募されることを期待したい。

---

## 長田 敏 製品安全コンサルタント

---

一般消費者による使用が想定される製品で、特にリスクが高い製品はなんだろうか。多くの方は、自動車、電動アシスト自転車、自転車、電動車いすなどの乗り物、ガスこんろ、湯沸器、石油ストーブなどの燃焼機器と答えるだろう。これらの製品については、安全側面を考慮した読ませるマニュアルを検討し、日本マニュアルコンテストに応募してほしいのだが、これまで、多数の自動車と、少数の燃焼器具、電動アシスト自転車のマニュアルの応募があったが、自転車、電動車いすの応募は1件もなかったようだ。

乗り物のマニュアルは、できれば製品本体に装着し、耐久性を考慮するべきであるが、そのような中で、自動車だけはグローブボックスが有り、マニュアルを格納しやすく、構造的にも電子マニュアルを装着しやすいことから、マニュアルの応募があったのだろう。自転車、電動車いすは、屋外で使用するもので

あり、マニュアルを屋外で読みたいときに使用者にマニュアルを読ませるには、自動車と同様に製品本体にマニュアルを装着するとともに、耐久性も考慮しなければならないため、その困難性から応募がなかったのだろう。

そんな中、今年には電動車いすの応募があった。電動車いすならではの「初めてお使いいただく方へ」というコンパクトなマニュアルと一般的なマニュアルで構成されており、すばらしいチャレンジと感じた。

今後、自転車、電動車いすのマニュアルについては、使用者にマニュアルを読ませるために何らかの方法で製品本体に装着し、屋外に駐車したとしても耐久性があり、「操作方法」「安全上の注意」などが明記されたシンプルなマニュアルにチャレンジしてほしい。

難しい審査でしたが、企画書に記載された制作者の意図やアピールポイントと、マニュアル本体の対象箇所とを何度も見比べながら評価しました。改善版として応募された紙媒体の作品には、必要な情報を絞り込んでスッキリさせたもの、逆に分量は増やしながらも分類の仕方等で読みやすくしたもの等があり、努力を重ねる姿勢に感心しました。

電子媒体は、新しい分野だけに期待値も高く、検索のしやすさや誘導の方法、視覚への訴えかけ等に特段の工夫が見られるかを、楽しみながら拝見しま

した。スマホですぐに調べられる等、先駆けとなる新しいものもありましたが、電子媒体だからこそ出来ることがもっとあるはずだとの意見も多く出ました。さらなる展開が今から楽しみです。

今回、福祉機器の応募もあり、たいへん嬉しく思いましたが、機器を取扱う事業者向けの指導書なのか、使用者自身に向けたものなのかの整理が不十分のように思われ残念でした。マニュアル制作の専門家を交えて協議し、対象者を明確にしたマニュアルで再挑戦していただくことを望みます。

---

綿井 雅康 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会 会長  
十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授・副学長

---

数年前のTCシンポジウム京都で基調講演として日本ほめる達人協会理事長の西村貴好氏からお話を伺いました。小生なりの理解では「ほめる」とは「相手の良さを見だし、その価値を言語化した上で、次に取り組むべき方向性を示すこと」だととらえています。マニュアルコンテストの趣旨は、まさにこの「ほめる」に通じるのではないかと考えています。

本コンテストには、ご存知のように、製品自体も、想定するユーザーや読者も、多種多様なマニュアルを応募していただいています。一次審査では、基礎・基本であり網羅的な事項で統一的に評価する必要があります。しかし最終審査となれば、特定の基準や方向性を設定して評価することは困難です。それゆえに、各作品が開発・改善された意図が本当に実現されているのか、各作品の良さが「使用説明」技術の質

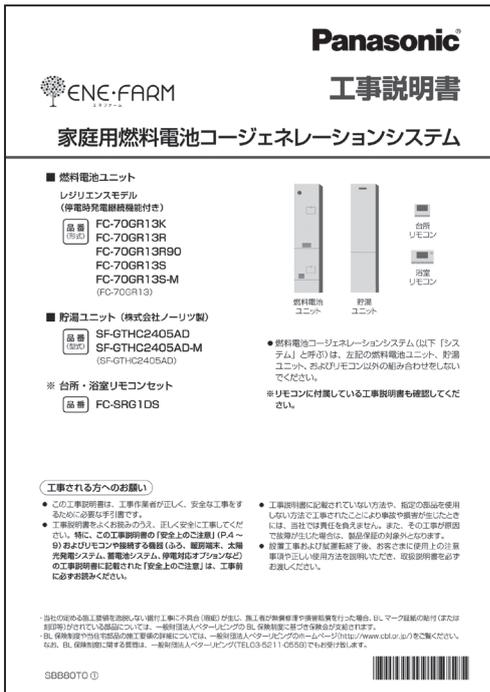
向上に貢献できるのかなど、個別に、そして絶対的な基準で審査せざるを得ないと感じています。まさにどれだけ「ほめられるか」ではないかと考えます。

今年の最終審査では、新しいジャンルやタイプでは？と思える作品がいくつもありました。すでに東京・京都のTCシンポジウムで展示された通り、WEBやスマートフォンと連動したマニュアル、特定の専門家向けながら一般向け仕様を志向したマニュアルなどです。本当に応募していただくマニュアルの「幅の広がり」を痛感する次第です。それゆえに最終審査に求められるのは、各作品の「良さ」をいかに見出し、それを的確に「ほめられるか」です。

そんな視点がマニュアルコンテストにあることをご理解いただき、より多くのマニュアルを応募していただくようお願い申し上げます。

# 工事説明書の改善を通して、お客様の安全を守る

日本マニュアルコンテスト2017のマニュアル オブ ザ イヤーは、パナソニック株式会社の「エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）工事説明書」が受賞しました。産業部門からの選出は、2002年からのマニュアル オブ ザ イヤー史上初の快挙です。コンシューマーと異なる読み手に向け、わかりやすく、安全に工事ができるようにした工夫が高く評価されました。制作を担当した方々に、改善の工夫と説明書への取り組みを伺いました。



受賞作表紙



パナソニック株式会社  
スマートエネルギーシステム事業部  
燃料電池技術部 技術企画課 清水一典さん

## ■ 取扱説明書のような工事説明書に改善

受賞した工事説明書の製品「エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）」は、ガスから電気とお湯をつくる、家庭用の発電機能付きのガス給湯器です。燃料電池ユニット、貯湯ユニットなど複数のユニットで構成され、設置する場所に合わせて、さまざまな設置用の部品やオプション品が用意されています。2008年7月に生産を開始して、2017年3月には、世界初となる累計生産台数10万台を達成しました。

その製品特徴からガス、水、電気とさまざまな

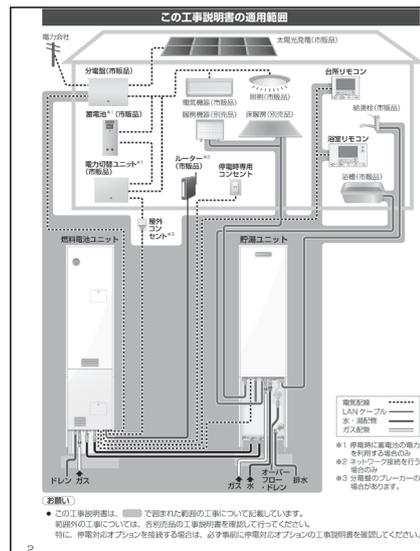
工事が必要で、工事作業者が持つ資格によって工事が異なります。パナソニック株式会社では、エネファームのシステムをガス会社と共同開発し、燃料電池ユニットの製造を手がけています。

今回の受賞作は、よりわかりやすく、安全に工事が行える工事説明書へと大きく改善した作品です。改善にあたっては、現場や関係者へヒアリングを行ったといいます。そこで「文字が多くて読む気にならない、イラストがわかりにくい、工事の流れがわかりにくい、検索しにくいといった声が出ました」と工事説明書の制作を担当する技術企画課の

清水一典さんは説明します。それまでも図解を入れるなどの工夫をしていましたが、「技術仕様書のようなスタイルで、メリハリがなく、読みにくいことがわかりました。製品が新しくなる時期に合わせ、工事説明書を大きく変えることを決めました」と技術企画課の中野明課長は、大幅な改善に踏み切った意図を語ります。

改善に向けての大きな方針は、工事作業者の視点で制作すること。具体的には、わかりやすい、探しやすい、安全に配慮することを目指しました。

「正しい工事や工事作業者の安全に配慮した工事説明書を作成することは、お客様にも安全に使っていただくために重要なことだと考えました」と清水さんは説明します。



工事説明書の冒頭ページ。工事範囲が網掛けを使って示されている

次の目次ページは、「工事の手順」とのタイトルが付いています。準備、設置工事、配管工事、点検・試運転、引き渡しと、工事の工程ごとに、見出しを付けて整理され、工事の全体の流れが、1ページで把握できます。自分が担当する工事のページが、すぐに開けることで、「探しやすい」工事説明書への改善を実現しました。

「安全上のご注意」は、従来の工事説明書では警告や注意の説明で文字が多く、ヒアリングでは「読む気にならない」との意見が出たページです。

改善後は、「情報を整理してグルーピングをし、やるべきことが明確にわかるようにしました」と清水さんは説明します。適度な余白を設定して読みやすくし、イラストを使って理解を促進できるように工夫したと述べています。

「警告文での文頭には、マークを付けて燃料電池ユニットか、貯湯ユニットか、どちらのユニットなのかをわかるようにして、検索性を高めました。取扱説明書で培った読みやすさを、工事説明書にも活用しています」と中野課長は話します。



工事説明書の改善を担当した同社、技術企画課 課長中野明さん(中央)、清水一典さん(右)、松村実樹さん(左)

## ■ 図解で工事範囲や流れが一目でわかるように

エネファーム工事説明書を開くと、最初のページ「準備1 はじめに」で、「この工事説明書の適用範囲」が図解で示されています。この製品は燃料電池ユニットと貯湯ユニットのほか、屋内、屋外のさまざまな電気機器とも接続して利用されます。

「ガス、水、電気の工事が必要とされる現場で、さまざまな製品とつながるシステムの中で、この工事説明書の範囲を明確にするために、図解しました。」と清水さんは語ります。

工事の手順				
<b>準備</b>				
はじめに	2	準備		
安全上の注意	4			
施工上のお願い	10			
解体寸法図	12			
特ごん品 / 市販部品 / 別売品	14			
<b>設置工事</b>				
設置場所を決める	20		設置	
設置工事をする	25			
搬入する	26			
設置確認する	29			
<b>配管工事</b>				
配管工事の前に	36			
排水配管する	38			
換気配管する	39			
ひる配管する	40			
縦向き配管する	47			
絶縁配管する	49			
給水配管する	50			
ガス配管する	51			
配管検査する	52			
保護工事をする	54			
<b>配線工事</b>				
配線工事の前に	55	配線		
ブレーカー工事をする	59			
アース工事をする	62			
燃料電池ユニットの配線をする	63			
貯電ユニットの配線をする	67			
<b>点検・試運転</b>				
点検・試運転	74			
システム試運転の手続きをする	77			
システム試運転	94			
<b>引き渡し</b>				
お客さまへの引き渡し前に	121		点検	
設置工事後の確認	130			
設置工事後の保証	137			
設置工事後の確認	144			

工事説明書の目次ページ。工事全体の流れが把握できるように見出しを付けている

## ■工事を正しく、ロスなく進める工夫

エネファームは設置場所によってどのように設置するのか、必要な同ごん部品や市販部品、別売品が変わってくる製品です。戸建て、マンションといった建物の種類に加え、窓や扉の位置などによっても異なり、設置パターンは多岐にわたるといいます。

「設置パターンごとに、間違えずに工事が行え、部品の不足などのロスをなくすよう、情報整理に配慮しました」と清水さん。各パターンの冒頭には、設置寸法図を入れ、ユニットを配置する順番も示しています。

また、試運転の工程では、「時間がかかるシステム試運転は、手順をフローチャートにし、流れがわかるようにしました」と説明します。

## ■3Dのイラストを活用して理解を促進

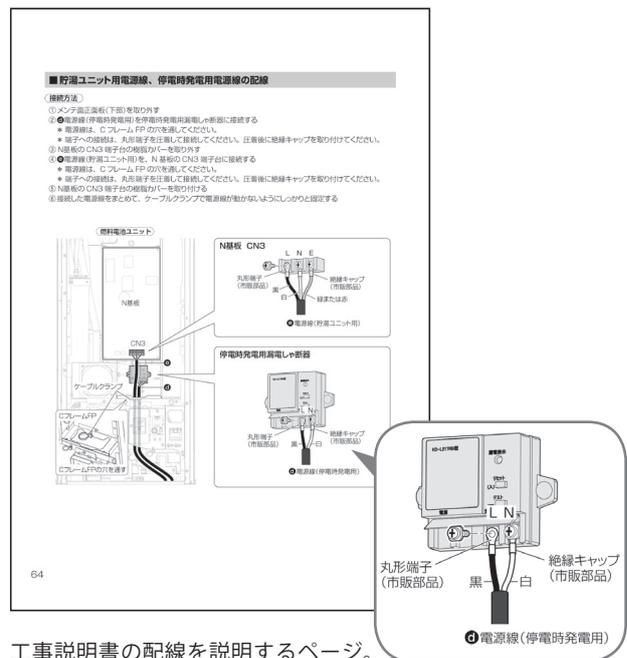
受賞した工事説明書は、3次元（3D）イラストを適切に用いて、わかりやすさを改善したことも評価のポイントとなりました。

「改善のためのヒアリングで、イラストがわかりにくいとの声が出たことを改善しました。俯瞰図で全体

像を把握できるようにし、詳細図で細かいところがわかるように工夫し、リアルな3Dイラストを積極的に活用しました」と清水さんは説明します。配線の色を見分けられるように、イラストには「黒」「緑または赤」といった色の説明も入っています。

改善後は工事業者から「イラストが現物と近いため、わかりやすくなった」との声が寄せられているといいます。

一方で3Dイラスト作成には、時間も費用もかかります。「3Dイラストで示す事は効果がありますが、コストがかかります。時間と費用のバランスをどう取るか、見極めが重要です」と中野課長は語ります。同社では、施工の関係者に確認しながら、重要な部分に3Dイラストを使い、効果の高い活用を目指しました。



工事説明書の配線を説明するページ。俯瞰図と詳細図を使い、3Dイラストで説明している

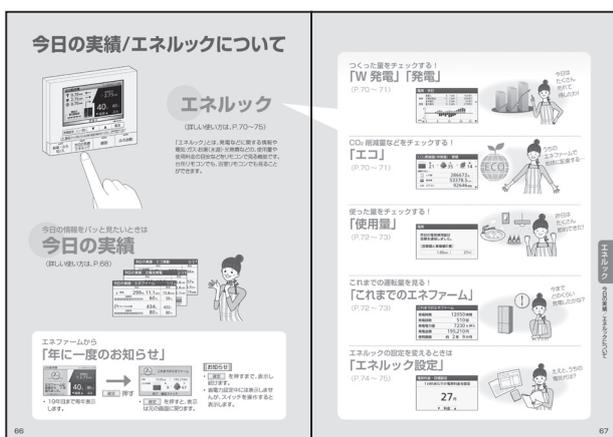
## ■見開きを使わず単ページに設計変更

同工事説明書は、使いやすさにも配慮しています。単ページで説明するようフォーマットの設計を変更したこともそのひとつです。

家電製品の取扱説明書は、図のように見開きページを使ってわかりやすく説明する技術が活用されます。お客様がリビングなどで取扱説明書を開いて読

むことを想定し、全体像やイメージを伝わりやすくする工夫です。

一方、工事説明書の使い方をヒアリングしたところ、工事作業者は必要な作業のページをコピーして現場に持って行って使うことがわかりました。そうした場で使いやすい形態として、見開きを使わずに、単ページごとの設計に変えました。こうした現場の読み方を理解した上での設計が、読みやすさにつながっています。



見開きページでエネファームの機能「エネルギーック」を説明するページ。人物イラストを使い、シンプルに分かりやすくデザインしている

## ■利用者の安全を訴えたプレゼンが高評価

マニュアル オブ ザ イヤーの最終審査では、審査委員とマニュアルコンテスト関係者に対してのプレゼンテーションが行われます。制作担当者として、どのような目的や意図を持って改善に取り組み、具体的にどのような工夫をしたのかを説明するものです。

受賞したエネファーム工事説明書では、担当した清水さんのわかりやすく、真摯なプレゼンテーションが良かったとの声が複数、聞こえてきました。「工事説明書を読んで工事をする人の先にいる、お客様の安心や安全を考えて作成している点が素晴らしい」といった感想もありました。利用者の安心や安全を使用説明で提供するテクニカルコミュニケーションの役割を実現している点が共感を生み、評価されたのでしょうか。

このプレゼンテーションには「技術企画課内でリハールを実施し、メンバーからかわりにくい点などをフィードバックして準備しました」と中野課長が説明します。伝えたい内容をわかりやすく伝えることは、マニュアルコンテストでも重要なポイントです。

## ■拠点を連携した説明書改善の取り組み

パナソニック株式会社は、さまざまな商品の取扱説明書を応募していただいている日本マニュアルコンテストの常連会社でもあります。顧客満足向上の視点で、取扱説明書改善に取り組んでいます。

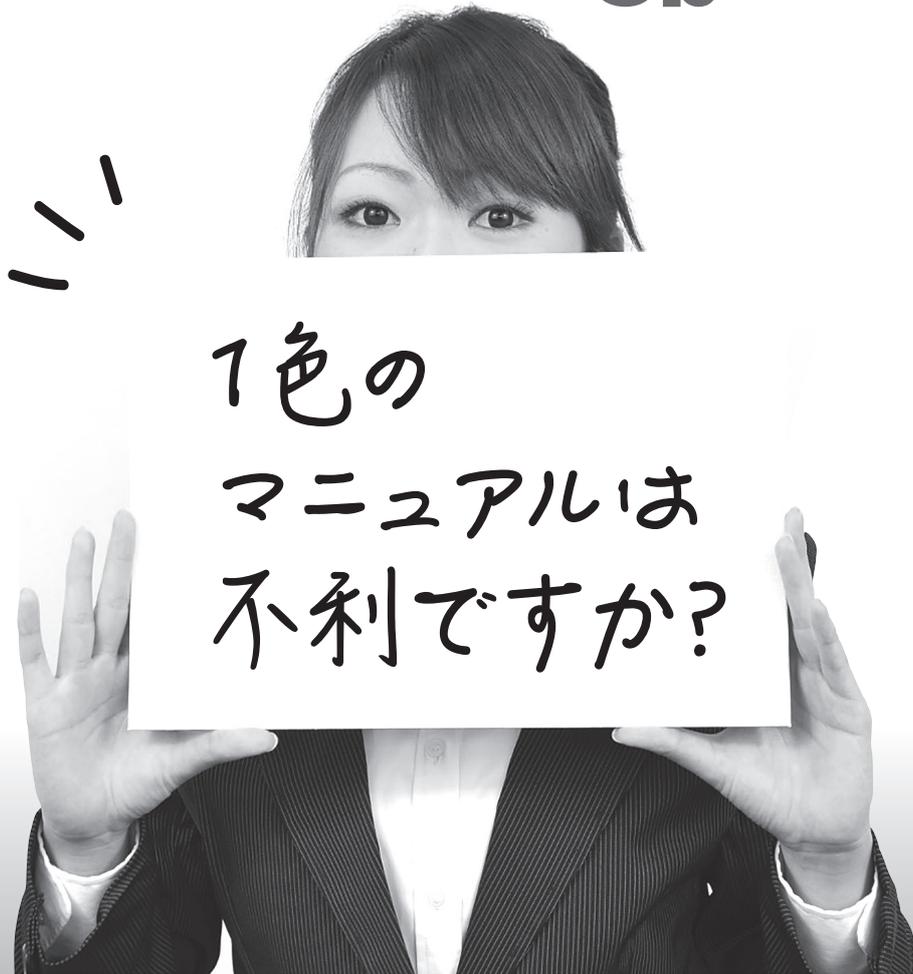
パナソニック全社およびアプライアンス社では、それぞれに説明書のコンテストを開催し、良いものを評価してきたといいます。また、全国の拠点の説明書に関わるメンバーと連携し、説明書の改善活動も行っています。

「高品質な商品を提供することは、創業以来の取り組みです。昭和29年から戦後の混乱で中断していた製品審査制度が再開され、高いレベルの要求が説明書にも求められています。こうしたお客様視点のわかりやすい取扱説明書作成の取り組みを、今回、工事説明書へ展開しました。

今後は品質を高めて、ページを削減するような改善に取り組んでいきたいと思います。また、説明書作成のノウハウを伝承していくことにも取り組んでいきます」と中野課長が語り、「マニュアルコンテストの評価において、改善の余地もあるというコメントもいただきました。受賞に満足することなく、更なる改善に取り組んでいきたいと思います」と松村さんが意気込みを話してくれました。

マニュアル オブ ザ イヤーの表彰コメントで「工事説明書の改善・進化は『高生産性社会』の実現に貢献するものと考えられる」と言及されたように、製品説明書作成のノウハウは多様な場へ展開される可能を持っていると言えるでしょう。

(取材・構成： 高橋 慈子)



日本マニュアルコンテスト 2017 の受賞マニュアルを見てみると、受賞のポイントが「色」ではないことがわかります。

むしろ、電子部門も含めて、色の使いかたが適切でないことで受賞を逃したり、評価を下げるマニュアルが多くあります。「色を使う」ということは、それだけ、なぜ色を使うのか、何にどう色を使って、何を伝えたいのか、きちんとした情報設計が必要です。色を使う＝わかりやすい、ではありません。

だから…

# 1色のマニュアルは、不利ではありません。

**日本マニュアルコンテスト 2018 <後援：消費者庁 + 国民生活センター（予定）>**

日本マニュアルコンテスト 2018 は 2018 年 3 月からマニュアルを募集しています。

詳しくは 2018 年 2 月発行（予定）の「日本マニュアルコンテスト 2018 募集案内」をご覧ください。

そして、

**日本マニュアルコンテスト 2018 の表彰式に立つのは、あなたです。**

- ・一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会ホームページ：<https://www.jtca.org/>
- ・日本マニュアルコンテストホームページ：[https://www.jtca.org/tc\\_award/index.html](https://www.jtca.org/tc_award/index.html)
- ・お問い合わせはこちらから：<https://www.jtca.org/postmail.html>

## 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会ご案内

「読まれない！」使用説明づくりに日々悪戦苦闘する皆様のお役に立ちたい！

- ◎テクニカルコミュニケーション技術は、伝えようとするモノの外面・内面を観察・分析しその本質を見極め、有形・無形な使用説明情報を翻訳し、わかりやすく使い手に伝えるものです。
- ◎さまざまな使用説明を現実の生活に即し見えるかたちにするのがテクニカルコミュニケーターです。
- ◎そして、テクニカルコミュニケーターが実社会で活動しやすく、ユーザー、顧客がモノとの快適なコミュニケーションをできるように支えることが一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会（JTCA）の役割です。

### 主な活動

#### ● TC シンポジウム

全国規模のシンポジウムを東京（8月）と京都（10月）の2会場で実施  
パネルディスカッション、特別セッション、展示、商品紹介、事例発表、学習、交流の機会を提供

#### ● 日本マニュアルコンテスト

年度最優秀マニュアル（マニュアル オブ ザ イヤー）の選出と表彰  
国際規格（IEC82079-1）に基づく評価

#### ● 学術研究・産学協同

TC 技術発展のため、多彩な調査研究活動を推進  
大学などの公的研究機関とも連携  
研究成果の公開（研究論文の掲載や TC シンポジウムでの発表）による情報共有  
大学向け TC 専門課程認定制度の創設と実施に向けた連携

#### ● 海外市場対応

中国・アジア市場における使用説明の法令・規格を現地調査  
欧州の TC 専門組織（ドイツ tekomp）と連携  
tcworld の共催（京都）とドイツでの tcworld に参加  
TC 国際円卓会議（2010 年開始、9 か国が参画）の推進

#### ● 受託事業

マニュアル評価サービス（国内向け、海外市場向け）

#### ● 標準規格策定（ガイドライン）

トピック指向ライティングの検討  
使用説明に関する国際規格の策定／改定（IEC82079 シリーズ）  
カタカナ表記ガイドラインの策定／改定

#### ● セミナー事業

セミナーによる人材育成活動  
新人、中堅、ベテランなどのレベル別セミナーの実施  
最新の制作ツールなど、新しい技術動向を解説

#### ● TC 技術検定

全国共通の基準でスキルの到達度を判定  
3 級：テクニカルライティング試験（TW）  
2 級：使用説明制作実務試験（MP）  
2 級：使用説明制作ディレクション試験（DR）

#### ● 国際 TC 検定試験

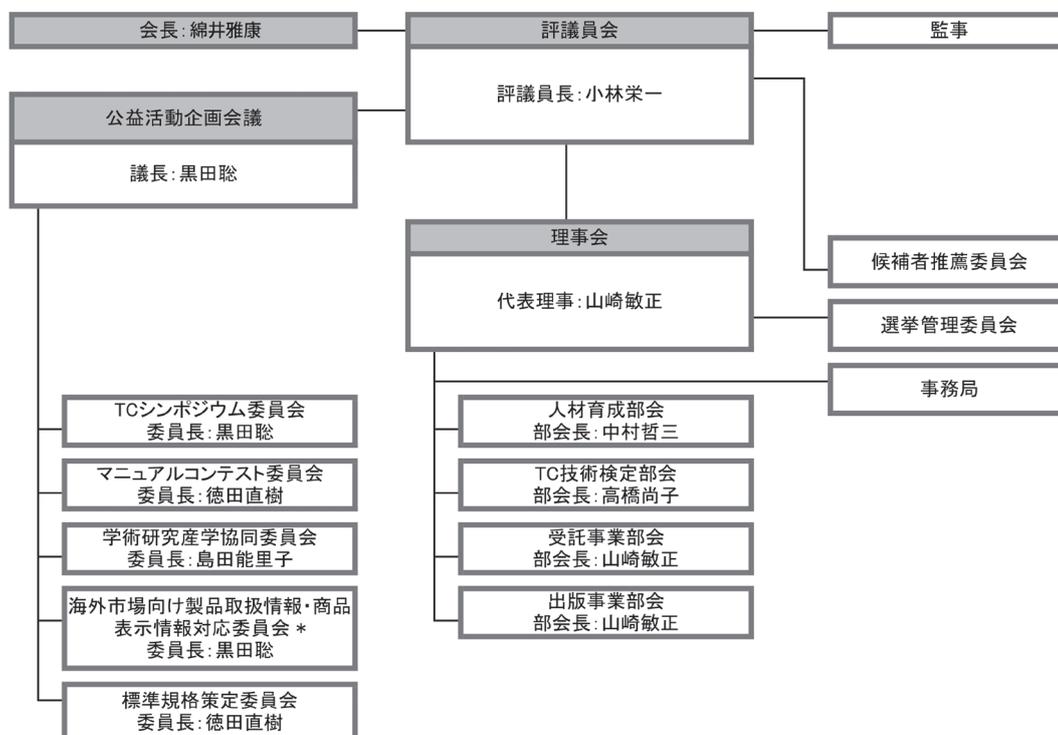
ドイツ TC 協会（tekomp）認定の TCTrainNet を活用した英語による学習と試験で国際的な TC 資格取得の推進

#### ● 出版事業

TC 技術検定受験用ガイドブック（TW、MP、DR）  
使用説明関連の中国国家標準解説書  
機関紙 Frontier（年 3～4 回発行）

# 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

## 組織体制：2018年2月1日現在



\* 海外市場向け製品取扱情報・商品表示情報対応委員会の略称を海外市場委員会とする

### Frontier (フロンティア) 第12号 2018年3月発行

発行：一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 4-22-15

Tel.03-3368-4607 Fax.03-3368-5087

<https://www.jtca.org>

発行人：綿井 雅康

編集責任者：山崎 敏正

企画／編集：TC 協会出版事業部会

表紙・本文デザイン：菊池美範（株式会社エイアール）

／吉光さおり（Kamigraph Design）

編集・制作：株式会社パセイジ

非売品

無断転載・複製・禁止：当機関誌に掲載されている全ての画像・文章・情報等は著作権により保護されています。著作権者の許可なくこの掲載内容の全て又は一部をいかなる手段においても複製・転載・流用・転売・複写等することを固く禁じます。

\* 本データの使用についてはTC協会事務局までご連絡ください。

©Japan Technical Communicators Association 2018



**JICA**